

高松市立栗林小学校 体力向上プラン

【学校教育目標】

よく学び よく遊び よく働く 子どもを育てる

「確かな学力の定着」「健やかな心と体の育成」「心の豊かさの実践」

【目標】

- 運動が好きと答える子どもの割合を、H30年度までに80%にする。
- 狭いスペースを活用して、工夫して遊ぶことで、体を動かすことの楽しさを味わい、積極的に運動する子どもを育成する。

【取組み】

なわとび月間

9月に縄跳び検定カードを配布し、2学期を中心に縄跳び運動に取り組む。さらに、11・12月には「なわとび月間」を設定し、各学年に応じた合格ラインを達成した児童に賞状を渡して、児童の意欲を高める。



栗っ子体操

始業前の時間を利用して、委員会の子どもたちが考えた動きをつなぎ合わせたオリジナルの体操を、体育館で週2回行う。

また、始業前だけではなく、体育の授業の準備体操にも取り入れていく予定である。



栗林TKP（体力向上プロジェクト）

始業前の時間を利用して、委員会の子どもたちが考えた運動を行い、新体力テストに必要な力を高められるようにする。持久力の向上をめざし、シャトルランなどにも取り組み、楽しみながら体力の向上を図る。



スポーツフェスティバル

各学年、年に1度高松市東部運動公園へ行って運動をしている。ボールを使ったり、リレーを行ったりして、外で思い切り体を動かす楽しさを味わわせる。また、ペア学年でふれあい活動も行い、交流を深める。



【現状】

新校舎建設により、運動場がないため、休み時間に外遊びができない状況である。子どもたちは、週に1度、学年に割り振られている体育館使用日に、体育館でボール遊びや鬼ごっこをして遊んでいる。しかし、1学年およそ200人全員が体育館で遊ぶことはできず、教室でトランプをしたり、読書をしたりして過ごしている子どもがほとんどである。

体育の授業においては、近くの仮設運動場を使用しているが、移動時間も含めて行っているため、十分な時間を確保できていない。さらに、仮設運動場を使用できるのは、3～6年生のみとなっている。

【本校の課題】

- 全ての学年において、男女ともに総合得点で県・全国平均の値を下回っている。
- 全体的に握力、シャトルラン、50m走、ボール投げの記録が低い傾向がある。
→体育の授業以外でも、体を動かす楽しさ、「できた」という自分の技能の伸びを味わわせる必要がある。
そして、学校内では十分に運動できる環境が整備できないので、家庭で運動を進んで行う児童を育成する必要がある。